

委員	吉田 亮	<p>10:00 開会</p> <p>令和 6 年度第 1 回運営協議会の開催にあたり、次の通り説明した。</p> <p>委員 5 名全員が出席し、定款細則運営協議会規則第 6 条第 2 項により、会議が有効であることを確認した。</p> <p>定款細則運営協議会規則第 3 条第 2 項により、委員及び任期は以下の通り。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委員氏名</th> <th>任期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一万田 範彦</td> <td>R05.04.01 ~ R07.03.31</td> </tr> <tr> <td>一水 勝徳</td> <td>R05.04.01 ~ R07.03.31</td> </tr> <tr> <td>大嶋 久広</td> <td>R06.07.01 ~ R07.03.31</td> </tr> <tr> <td>橋本 みち代</td> <td>R05.04.01 ~ R07.03.31</td> </tr> <tr> <td>吉田 亮</td> <td>R05.04.01 ~ R07.03.31</td> </tr> </tbody> </table> <p>本日の協議事項について説明をした。</p> <p>1. 委員の委嘱辞令の交付 大島 敏武理事長より大嶋 久広委員に委嘱辞令が交付された。</p>	委員氏名	任期	一万田 範彦	R05.04.01 ~ R07.03.31	一水 勝徳	R05.04.01 ~ R07.03.31	大嶋 久広	R06.07.01 ~ R07.03.31	橋本 みち代	R05.04.01 ~ R07.03.31	吉田 亮	R05.04.01 ~ R07.03.31
委員氏名	任期													
一万田 範彦	R05.04.01 ~ R07.03.31													
一水 勝徳	R05.04.01 ~ R07.03.31													
大嶋 久広	R06.07.01 ~ R07.03.31													
橋本 みち代	R05.04.01 ~ R07.03.31													
吉田 亮	R05.04.01 ~ R07.03.31													
会長	一万田範彦	<p>2. 会長挨拶</p> <p>その他出席者である理事長、業務執行理事、事務長、事務長代理に謝辞を述べた。 また、各委員についても真摯な議論をお願いすると共に出席に謝辞を述べた。 新型コロナウイルス感染症がまん延している状況である。要援護者受入については、受け入れ施設から発生することがない様、受け入れ時の対策と対応に努めていただきたいことをお願いとし、挨拶とした。</p>												
理事長	大島 敏武	<p>3. 理事長挨拶</p> <p>本協議会については、一つの施設が防災の拠点としてその役割を果たすことができる様、あらゆる面で会長及び各委員にご協力を賜り、これまで順調に実績を積み重ねることができていることに謝辞を述べた。 これまでの経過、今後の取り組み、新たな要望について、協議の議題にするべき内容があればご意見を賜り、積極的に取り組みたいと考えている旨を説明し、挨拶とした。</p>												
委員	吉田 亮	<p>協議にあたり、議長に一万田 範彦会長を提案した。</p>												
委員	全 員	<p>異議なく、承認の意を表した。</p>												

議長	一万田範彦	4. 令和5年度事業の総括について、吉田 亮委員に報告を求めた。
委員	吉田 亮	<p>令和5年度事業の総括について、以下の通り報告した。</p> <p>○令和5年4月24日に開催した令和5年度第1回運営協議会において、地域ニーズを把握する目的とし、令和5年度は竹中校区民生委員・児童委員との意見交換会を行うことが決定した。令和6年2月17日に運営協議会の委員、一万田 範彦会長、一水 勝徳副会長、吉田 亮委員で竹中校区民生委員・児童委員との意見交換会を行った。</p> <p>(1) 災害時における清静園避難所への申し込みについての説明</p> <p>(2) これまでの災害時避難受入実績の報告について</p> <p>(3) 意見交換会（それぞれの地区が抱える課題）</p> <p>○災害時の地域住民の避難について、地域によっては浸透されていると思う。過去避難実績のある方は、事前に問い合わせができています。移送については直前では受ける側としても対応が困難になってくる。避難状況は若年者がリーダー的な役割を担い、食事等の準備をして協力し合って過ごすことができています。</p> <p>○自治会長とは連携が図れているのか。今まで民生委員として関わりはない。過去の避難時はほぼ自治会長とやり取りができています。地区によっては民生委員に連絡するケースもあった。今後の受け入れでは、施設から民生委員への連絡も必要かと考える。</p> <p>○「申込みの流れ」は過去に配布しているが、再度清静園から配布してもらえないか。</p> <p>配布可能となる様に準備を検討する。(令和6年2月6日に500部を準備済み)</p> <p>(4) 今回意見交換会に参加している民生委員・児童委員は改選により、協定書を締結した時と比べ交代をしている。民生委員・児童委員の中でもこの取り組みを知らない方が存在した。幅広く取り組みについて認知していただくことが必要であると考える。</p>
会長	一万田範彦	<p>以上の通り報告をした。</p> <p>「申込みの流れ」については、既に500部を各地区別に準備をしている。各地区の自治会長にお願いしたいと考えている。次回の定例会で対応が可能かどうか、運営協議会からの説明が妥当かどうか、大嶋 久広委員に問う。</p>
委員	大嶋 久広	<p>次回の定例会は、令和6年8月21日、19:00から竹中公民館で定例会を予定している。また、自治会長も数名交代をしている。よって、冒頭に運営協議会からの説明をお願いしたいと意見した。</p>

会 長	一万田範彦	了承の意を表した。																																				
議 長	一万田範彦	この報告について、委員に意見を求めた。																																				
委 員	全 員	特に意見はなく、了承の意を表した。																																				
議 長	一万田範彦	5. これまでの災害時避難受け入れ実績報告について、吉田 亮委員に報告を求めた。																																				
委 員	吉田 亮	<p>令和 6 年度の実績を以下の通り報告した。</p> <p>○受入日 令和 6 年 6 月 27 日～令和 6 年 6 月 28 日</p> <p>○避難理由 線状降水帯及び大雨予測予報に伴う避難要請</p> <p>○受け入れ地区・年齢・性別 端登 花香地区 80 歳代 男性 1 名 ・ 女性 1 名 合計 2 名 (1 地区 1 世帯)</p> <p>○詳細 令和 6 年 6 月 27 日、14 : 00 頃に本人より避難要請あり。自治会長からの要請依頼が確認できていない為、自治委員連絡協議会会長に連絡し、自治会長からの要請を依頼した。15 : 30 頃、担当地区自治会長より正式な要請があり、17 : 21 に避難受入完了となる。令和 6 年 6 月 28 日、6 : 00 頃本人より避難終了の申出があり、避難受入終了となる。</p> <p>○避難受入場所 (旧) グループホーム</p> <p>避難開始及び避難終了報告に関しては、法人より担当地区自治会長に連絡をしている。</p> <p>○過去の避難実績</p> <table border="1"> <tr> <td>平成 30 年 09 月</td> <td>5 名</td> <td>2 地区</td> <td>4 世帯</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年 10 月</td> <td>2 名</td> <td>1 地区</td> <td>1 世帯</td> </tr> <tr> <td>令和 01 年 08 月</td> <td>12 名</td> <td>3 地区</td> <td>7 世帯</td> </tr> <tr> <td>令和 02 年 09 月</td> <td>23 名</td> <td>4 地区</td> <td>14 世帯 (※)</td> </tr> <tr> <td>令和 03 年 08 月</td> <td>6 名</td> <td>1 地区</td> <td>1 世帯 (3 日間の合計)</td> </tr> <tr> <td>令和 04 年 09 月</td> <td>20 名</td> <td>4 地区</td> <td>12 世帯 (※)</td> </tr> <tr> <td>令和 05 年 06 月</td> <td>2 名</td> <td>1 地区</td> <td>1 世帯</td> </tr> <tr> <td>令和 05 年 08 月</td> <td>6 名</td> <td>1 地区</td> <td>3 世帯</td> </tr> <tr> <td>令和 06 年 06 月</td> <td>2 名</td> <td>1 地区</td> <td>1 世帯</td> </tr> </table>	平成 30 年 09 月	5 名	2 地区	4 世帯	平成 30 年 10 月	2 名	1 地区	1 世帯	令和 01 年 08 月	12 名	3 地区	7 世帯	令和 02 年 09 月	23 名	4 地区	14 世帯 (※)	令和 03 年 08 月	6 名	1 地区	1 世帯 (3 日間の合計)	令和 04 年 09 月	20 名	4 地区	12 世帯 (※)	令和 05 年 06 月	2 名	1 地区	1 世帯	令和 05 年 08 月	6 名	1 地区	3 世帯	令和 06 年 06 月	2 名	1 地区	1 世帯
平成 30 年 09 月	5 名	2 地区	4 世帯																																			
平成 30 年 10 月	2 名	1 地区	1 世帯																																			
令和 01 年 08 月	12 名	3 地区	7 世帯																																			
令和 02 年 09 月	23 名	4 地区	14 世帯 (※)																																			
令和 03 年 08 月	6 名	1 地区	1 世帯 (3 日間の合計)																																			
令和 04 年 09 月	20 名	4 地区	12 世帯 (※)																																			
令和 05 年 06 月	2 名	1 地区	1 世帯																																			
令和 05 年 08 月	6 名	1 地区	3 世帯																																			
令和 06 年 06 月	2 名	1 地区	1 世帯																																			

協定書を締結した平成 30 年から現在に至るまで延べ 78 名の避難実績となっている。

○過去の避難実績（※）として、一部報告する。

①令和 2 年 9 月 6 日～令和 2 年 9 月 8 日 避難日数 合計 3 日間

・避難理由

台風 10 号接近に伴うもの

・避難要請

令和 2 年 9 月 4 日 8 : 30 頃、自治会長より避難要請。最終の避難要請は、令和 2 年 9 月 6 日の 16 : 45 頃。

・避難受入

令和 2 年 9 月 6 日 10 : 40 頃より開始。避難受入最終は、令和 2 年 9 月 6 日の 17 : 00 頃。

・受け入れ地区

端登地区（花香地区）、竹中地区（上竹中地区）、河原内地区（中無礼・黒仁田地区）

・その他情報

最高齢は 105 歳、最年少は 5 歳。一部避難者の移送あり。

受け入れ場所は指定介護老人福祉清静園 5 階和室

②令和 4 年 9 月 17 日～令和 4 年 9 月 19 日 避難日数 合計 3 日間

・避難理由

台風 14 号接近に伴う避難

・避難要請

令和 4 年 9 月 16 日 9 : 35 頃、避難者の介護支援専門員より避難要請。（避難者は地区の自治会長）最終の避難要請は、令和 4 年 9 月 18 日 17 : 00 頃。

・避難受入

令和 4 年 9 月 17 日 9 : 30 頃より開始。避難受入最終は、令和 4 年 9 月 18 日 17 : 00 頃。

・受け入れ地区

河原内地区（黒仁田・中無礼地区）、端登地区（花香地区）、竹中地区（上竹中地区）

・その他情報

黒仁田地区 1 名は 107 歳、避難中の介護者負担も考えられ、当法人の短期入所の利用調整を行う。一部避難者の移送もあり、移送ルートに問題がないかを事前に確認した。黒仁田地区については、途中断線を確認し、ライフラインに心配があったことから、市内在住のご家族に連絡して法人施設で引き継いだ。

受け入れ場所は指定介護老人福祉施設清静園 5 階（5 丁目 1 番館・2 番館）

		以上の通り報告をした。
議長	一万田範彦	この報告について、委員に意見を求めた。
理事長	大島 敏武	過去の避難実績報告について、具体的な避難要請理由の記載があったほうが解りやすいのではないかと意見した。
委員	吉田 亮	今後の報告から対応する旨を回答した。
会長	一万田範彦	令和 6 年度の災害時避難受け入れ実績について、自治会長との要請依頼が確認できなかったことから自治委員連絡協議会会長に連絡したとの報告があったが、「申込みの流れ」では自治会長と連絡が取れない場合は民生委員ではないか、と問う。
委員	吉田 亮	過去の避難実績について、自治会長が避難をする場合は民生委員に連絡をしているが、現状では民生委員への連絡はしていない。法人から民生委員に同時連絡をするか、自治会長から民生委員に連絡をするのか検討は必要であることを説明した。
会長	一万田範彦	できれば自治会で対応できることが望ましい。しかし、自治委員連絡協議会会長が全ての対応をすることは負担が大きくなると思う。今回のケースは民生委員へ連絡する対応が望ましいのではないかと、意見した。
委員	大嶋 久広	今回、避難をした方は避難実績がある方であったことから、直接法人に連絡したと思われる。自治会長や民生委員にも連絡が取れないこともあり得る。マニュアル上での体制も重要であり、臨機応変の対応も必要であると意見した。
委員	吉田 亮	「申込みの流れ」での連絡体制では、自治会長に連絡し、連絡が取れない場合は民生委員への連絡となっている。民生委員にも連絡が取れない場合は、自治委員連絡協議会会長への連絡となっている。避難実績がある方であったことから、自治会長との連絡を優先したことを説明した。
会長	一万田範彦	民生委員同様に自治会長も交代していることから、連絡体制については民生委員に対しても今後説明する必要性が高い。今後も重点的に説明する必要があると意見した。
副会長	一水 勝徳	避難実績のある方にとっては施設への直接連絡が優先されてしまう。「申込みの流れ」の把握については、避難する方のみならず、民生委員にも認識していただくことは極めて重要であると意見した。
議長	一万田範彦	他に意見はないか、委員に問う。


委員	全員	特に意見はなく、了承の意を表した。
議長	一万田範彦	6. 令和6年度の事業について 令和5年度は民生委員・児童委員との意見交換会を実施したことにより、令和6年度は自治会長との意見交換会を実施することを委員に提案した。
委員	全員	異議なく、了承の意を表した。
議長	一万田範彦	意見交換会の実施について、地域に特性があることから3地区で分けて行うことが必要かどうか、一水 勝徳副会長及び大嶋 久広委員に確認した。
委員	大嶋 久広	一括で問題ないと考えると意見した。
副会長	一水 勝徳	同じく一括で問題ないと意見した。
議長	一万田範彦	意見交換会の時期についてどうか、委員に意見を求めた。
委員	大嶋 久広	8月の定例会では予定された議題進行もある為、時期については改めて検討させていただきたいと意見した。
議長	一万田範彦	了承の意を表した。 日程については大嶋 久広委員と調整して各委員にお知らせすると回答した。各委員に問題はないか、確認した。
委員	全員	異議なく、承認の意を表した。
議長	一万田範彦	7. その他意見はないか、委員に求めた。
副会長	一水 勝徳	今後の予想される大規模な自然災害について、地域住民に理解を浸透させることが極めて重要であり、地域の防災士協議会においても様々な取り組みをしている。しかし、大規模な災害となると避難できるエリアや避難人数にも限りがある。感染症の問題もあるが、運営協議会を通じて法人と地域での合同訓練を計画したいと考えている。合同訓練の提案についてどうか、大嶋 敏武理事長に伺いを立てた。
理事長	大嶋 敏武	法人としては、数年前から大規模自然災害に対して法人の事業経営が継続できるように計画をしている。また、必要性が考えられる資材も備蓄している。地域住民と合同で訓練をするとなると具体的な訓練内容を示していただきたいと意見した。
議長	一万田範彦	地域の防災士協議会で地域全体の取り組みをどうするか、その取り組みに法人がどのよう

		に関わっていくのかを課題とし、今後の協議事項にすることでよいか、一水 勝徳副会長に確認した。
副会長	一水 勝徳	了承の意を表した。
議長	一万田範彦	他に意見はないか、各委員に求めた。協議全てを完了したことを説明した。
委員	全 員	異議なく、承認の意を表した。
議長	一万田範彦	委員全員の承認を確認し、全ての協議を終了したことを報告すると共に協議に対する労を謝し、10：40に令和6年度第1回運営協議会の閉会を宣言した。

令和 06年 07月 29日

議事録署名

社会福祉法人 一志会 理事

会 長 一万田 範彦 


竹中校区民生委員協議会 会長

副会長 一水 勝徳 

竹中校区自治委員連絡協議会 会長

委 員 大場 久広 

居宅介護支援事業所 管理者

委 員 橋本 みち代 

指定介護老人福祉施設 施設長

委 員 吉田 亮 